大阪市立大学大学院理学研究科

研究奨学奨励金

研究実績報告書

様式 4

西暦　2020 年 3 月 10 日

ふりがな	きょうりゅう　さんたろう	学　年	指導教員
氏　　名	恐竜　三太郎	(該当するものを○で囲む) D1　(D2)　D3	氏 名　翼竜　小次郎
学籍番号	D◇◇SD△△△		
所　　属	◎◎◎　　系専攻　　ジュラシックパーク学　　研究室		
研究課題	ジュラ紀～白亜紀竜盤類の▽▽▽▽▽とその地史的背景		

研究実績報告

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。

見本

学会発表　恐竜三太郎（2018）△△△△△△△の▽▽▽的解析とその応用。日本◇◇学会第××回学術大会

論文　Kyoryu, S. and Marumaru, H. (2018) ◇◇◇◇◇◇ and △△△△△△in ◇◇◇◇ Journal ××××, Vol.××, pp.×××-×××.

本研究奨学奨励金が研究にどのように役立ったかについて記述してください。

本研究奨学奨励金を主として授業料に充当した。そのためアルバイト等に割く時間が相当程度軽減され、その分研究に専念することができ、研究を大幅に進捗させることができた。

期間内に学会・研究会での発表や論文（投稿を含む）があれば報告の末尾に記載すること。